

高齢者総合機能評価とがんロコモティブシンドローム（呼吸器内科）

臨床研究の名称 高齢者総合機能評価とがんロコモティブシンドロームへの取り組み

研究責任者の所属・氏名 呼吸器内科 医師 川辺 梨恵

研究の概要 【目的】担癌患者に高齢者総合機能評価(CGA;日常生活動作や併存疾患の把握,栄養状態,精神状態,社会・経済的側面の把握)を行うことで通常の診療では特定しにくい問題点を把握し,リスクに応じて介入することで治療効果を損なうことなく無理のない治療を行うことができるという論文報告があります.JSMO や ASCO でも CGA の実施を推奨しています. 当科では 65 歳以上の胸部悪性疾患患者(主に肺癌患者)に高齢者総合機能評価を行い,治療方法の選択や治療薬の強度,治療継続の可否等の判断に用います.

また,がん治療の進歩によりがんと共に生きる期間が以前よりも長くなってきたことで,動けることの重要性が増してきています.リハビリ科の協力を得て,認知機能の評価と運動能力評価として,握力,10m 歩行の速度,5 回立ち上がりテストを行います.また,簡単なストレッチと自重を使った筋力トレーニングの指導を行います.合併する運動器障害をもつ患者に対しては入院中に運動療法を行います.

【対象患者】当科において 2023 年 4 月 1 日から 2023 年 12 月 31 日までに肺癌で治療を導入した 65 歳以上の患者さま

【研究期間】臨床倫理委員会承認後から 2026 年 9 月 30 日まで

【方法】初回治療導入時,レジメン変更ごとに同様の評価を行い,変化が認められたものに対して介入できることがあれば行っていき,無理なく治療が継続できる方法を考える.治療経過からこれ以上の治療が厳しいと判断された際にはその根拠とする.

【使用する情報】治療介入時の年齢,性別,IADL,GDS15,FRI,HSD-R,併存症,ポリファーマシー,栄養状態,キーパーソンの有無,運動能力評価の結果,臨床経過

【個人情報の取り扱い】本研究で取り扱うすべての臨床情報は名前や住所など患者様個人を特定できる情報を除き,院外へ持ち出すことはなく管理するため情報が外に漏れることはありません.また,研究結果を学会や論文などで報告する場合も,報告内容に個人が特定できる情報は一切含みません.もし患者様より情報提供を拒否する申し出があった場合には速やかに研究利用対象から外させていただきます.ただし,研究結果を報告した後の申し出については対応しかねる場合があります.

問い合わせ先 呼吸器内科 医師 川辺 梨恵

〒330-8553 埼玉県さいたま市中央区新都心 1 番地 5

さいたま赤十字病院

電話番号 048-852-1111 (代表)